



# エアキャノピータープメッシュテント 取扱説明書

この度はShare FunN エアキャノピータープメッシュテントをご購入いただき、誠にありがとうございます。製品使用前にこの取扱説明書をご確認いただき適切な取り扱いと安全に留意してお楽しみください。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次	1. 免責事項	...	1
	2. 同梱品 / 製品仕様	...	2
	3. テントの組立方法	...	3
	4. テントの収納方法	...	5



# 免責事項

本製品（エアキャノピータープメッシュテント）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
以下の点にご注意いただきご使用いただきますようよろしくお願い致します。

## 1. 警告（生命・身体に関わる重大な注意事項）

### ・火気厳禁

テント内で燃焼器具（ランタン、ストーブ、コンロ、焚き火等）の使用は絶対に行わないでください。

テント四隅、および天井部のエアチューブ破損による重大な事故の恐れ、また一酸化炭素中毒や酸欠により死亡事故に至る恐れがあります。

テント前室で燃焼器具を使用する際は、テントから2m以上の距離を取って行ってください。

### ・悪天候時の使用禁止

台風、暴風雨、豪雪、落雷の恐れがある場合は使用しないでください。エアフレームは強風でたわみやすいため、極端な悪天候下では倒壊や破損のリスクが高まります。

河川敷でのキャンプでは、増水の恐れがある場合は直ちに撤収してください。

### ・確実なペグダウン

エアフレームテントは構造上、風の影響を受けやすく、重量も比較的に軽いいため、必ず全ての箇所を確実にペグダウンし、張り綱（ガイロープ）を張ってください。自立していても、風で飛ばされると重大な事故につながります。

## 2. 注意（製品破裂・怪我を防ぐための事項）

### ・空気圧の管理（破裂防止）

過充填禁止：指定の空気圧（7 PSI）を超えて空気を入れないでください。チューブが破裂する原因となります。

気温変化による膨張：空気は熱で膨張します。日中の気温が高い時間帯や直射日光が当たる場所では、チューブ内の空気が膨張し、破裂する恐れがあります。夏季使用時は日中の空気圧の確認と調整を行ってください。

### ・設置場所とパンク防止

鋭利なものへの注意：砂利や砂が多い場所では尖った石やガラス片、木の枝でチューブに傷をつける恐れがあります。

グランドシートの使用推奨：テント下部にグランドシートを敷いて人体およびチューブの保護を行ってください。

また鋭利なキャンプ道具をテント内で振り回しチューブに傷をつけないように気をつけてください。

設営、撤収時にチューブの部分を引きずらないようにしてください。

### ・バルブの取扱い

空気を充填した後はバルブのキャップを確実に閉めてください。締付けが緩い場合空気が漏れて不安定になります。

バルブを一気に開放すると強烈な勢いで空気が噴出し思わぬ怪我の原因となるため、顔を近づけないでください。

## 3. 免責事項

### ・誤った使用による損害

取扱説明書に記載された使用方法、警告、注意事項を遵守しなかった場合に生じた事故、怪我、製品の破損については、当社は一切の責任を負いません。

### ・自然災害・不可抗力

地震、洪水、台風、落雷などの自然災害、または予期せぬ突風や天候急変によって生じた損害について当社は一切の責任を負いません。

### ・経年劣化・消耗

紫外線による生地劣化、使用に伴う傷、汚れ、エアチューブの自然消耗（寿命）による空気漏れは保証の対象外となる場合があります。

### ・改造・修理

お客様自身による改造、不適切な修理や加工が原因で発生した事故や不具合について当社は一切の責任を負いません。

### ・保管上の不注意

濡れたままの保管によるカビの発生、加水分解、色移り等は責任を負いかねます。

# 1. 同梱品について



テント本体 × 1

手動空気入れ × 1

タープポール × 2本（入口1か所分）

強化ペグ × 10

ペグ × 8

ガイロープ × 6（テント用4本、タープ用2本）

本体収納袋 × 1

## 2. 製品仕様

テントサイズ

幅：300cm 奥行：300cm 高さ：220cm

重量：約8.8kg / 全備重量：10.3kg

エアフレーム材質：PVC 耐圧6PSI

テント生地：ポリエステルオックスフォード

裏地：シルバーコーティング加工

耐水圧：3000mm

UVカット：UPF50+（紫外線98%カット）

### 3. テントの組立方法 - 1 -



1. テント本体を取り出し  
設営場所に広げます。  
テント4隅のうち2か所を  
ペグで仮止めします。

※テントが風で煽られると  
引きずられて傷が入る事が  
あります。



2. エアバルブをあけて、  
空気入れを接続します。  
空気の充填は1分程度です。

※自動空気入れ使用時は「7 PSI」  
で充填を行ってください。  
※チューブを握っても凹まない程度  
の硬さが充填の目安となります。



3. テントを起こします。  
1人の場合はテント下部をペグ  
で固定します。  
2人以上の場合はテントを外側  
に引っ張りながら起こします。

※ベンチレーションを開放する場合  
はテント起こす前に4か所  
行ってください。

### 3. テントの組立方法 - 2



4. 日差しや風向きに合わせて向きを決め形を整えます。最初にテント下部をペグダウン次にテント上部をガイロープで適度にテンションをかけ、ペグで固定してください。

※テントの形を確認しながらペグで固定してください。



5. 各入口をロールアップする事でクローズ、メッシュ、オープンで使用できます。

※ロールアップ時は、テント生地を折り畳んでから回していくと綺麗な形で固定できます。



6. 入口をキャノピーとして使用する際は、テントの形が歪まないようにガイロープでテンションをかけすぎないように気をつけてください。

※初期付属のタープポールは入口1か所対応です。

## 4. テントの収納方法 - 1 -



4. テント内の荷物を外に出し、  
テントをクローズ状態にします  
メッシュ生地も必ずファスナー  
をおろしてください。

※テント生地が固定されていないと  
綺麗に畳みづらくなります。



2. エアバルブの大きいキャップ  
を緩めて空気を抜きます。

※エアバルブを開放した瞬間に  
空気が大量に噴出しますので  
顔を近づけないでください。



3. エアバルブを開放すると  
テントがつぶれます。

テントを綺麗に畳むため、  
エアーチューブに残った  
空気を抜いていきます。

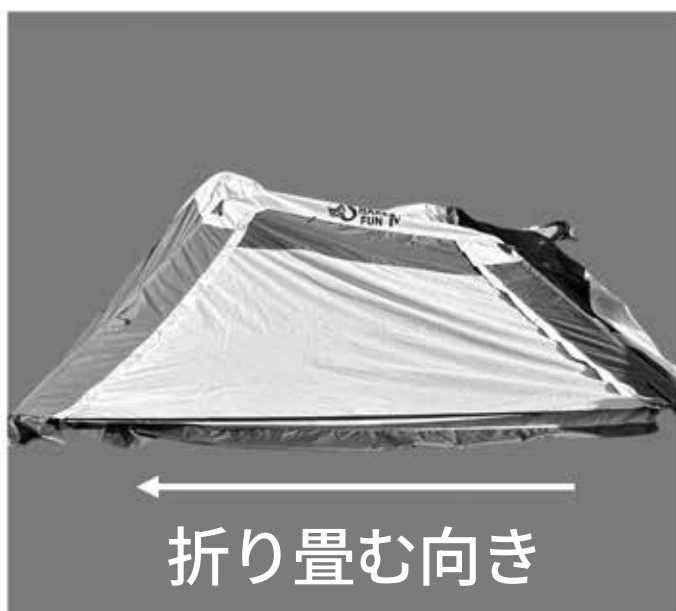
※自動空気入れをお持ちの場合は、  
空気排出モードでチューブ内の  
空気を抜いてください。

## 4. テントの収納方法 - 2 -



4. エアーチューブの支柱部分をバルブ付き支柱とその他支柱で二つに分けます。

その他の支柱（3本）を天井側に向かって、丸めて空気をバルブ側の支柱に流れるようにします。



5. 空気がしっかり抜けたら、テントを折りたたみます。図の状態から2回折畳み、形を整えます。

※収納バックの横幅より小さくなるように折り畳んでください。



6. テント天井側から、生地を回しながらテントを畳みます。チューブに空気が残っているとコンパクトに畳めないため、空気が残っている場合は4の手順で空気を抜きます。



製品情報はこちらをチェック



amazon



楽天



stores



**MGC**  
*More Global Connect*

株式会社MGC

〒720-2123

広島県福山市神辺町川北785-1

TEL.070-8993-1840 (代表)

E-MAIL : [info@mgc.email](mailto:info@mgc.email)

HP : <https://mgc.email/>

インスタ : [https://www.instagram.com/mgc\\_official/](https://www.instagram.com/mgc_official/)